



Firepower 2100 ASA プラットフォームモードの FXOS の概要

Firepower 2100 は ASA 用の単一アプリケーションアプライアンスです。Firepower 2100 は、Firepower eXtensible Operating System (FXOS) という基礎となるオペレーティングシステムを実行します。

Firepower 2100 は、次のモードで実行できます。

- **アプライアンスモード (デフォルト)** : アプライアンスモードでは、ASA のすべての設定を行うことができます。FXOS CLI からは、高度なトラブルシューティング コマンドのみ使用できます。
- **プラットフォームモード** : プラットフォームモードでは、FXOS で、基本的な動作パラメータとハードウェア インターフェイスの設定を行う必要があります。これらの設定には、インターフェイスの有効化、EtherChannels の確立、NTP、イメージ管理などが含まれます。Firepower Chassis Manager Web インターフェイスまたは FXOS CLI を使用できます。その後、ASDM または ASA CLI を使用して ASA オペレーティングシステムにセキュリティ ポリシーを設定できます。

このガイドでは、プラットフォームモードでのみ使用可能な FXOS 設定について説明します。

- [ASA と FXOS の管理 \(1 ページ\)](#)
- [サポートされない機能 \(2 ページ\)](#)

ASA と FXOS の管理

ASA および FXOS のオペレーティングシステムは、管理 1/1 インターフェイスを共有します。このインターフェイスには、ASA および FXOS に接続するための個別の IP アドレスがありません。



(注) このインターフェイスは ASA では管理 1/1 と呼ばれます。FXOS では、MGMT、management0、または同様の他の名前が表示されます。このガイドでは、一貫性と簡潔さのため、管理 1/1 としてこのインターフェイスを参照します。

FXOS および ASA で監視する必要がある機能は異なるため、継続的な保守で両方のオペレーティングシステムを使用する必要があります。FXOS の初期設定では、SSH またはブラウザ (<https://192.168.45.45>) を使用してデフォルトの 192.168.45.45 IP アドレスに接続できます。

ASA の初期設定では、ASDM を使用して <https://192.168.45.1/admin> に接続できます。ASDM では、後で任意のインターフェイスからの SSH アクセスを設定できます。

両方のオペレーティングシステムをコンソールポートから使用できます。初期接続では FXOS CLI にアクセスします。ASA CLI には **connect asa** コマンドを使用してアクセスできます。

ASA データインターフェイスから FXOS を管理できるようにすること、および SSH、HTTPS、および SNMP の各アクセスを設定することも可能です。この機能はリモート管理に役立ちます。

サポートされない機能

次の FXOS 機能は、Firepower 2100 ではサポートされていません。

- FXOS 設定のバックアップと復元
- FXOS の外部 AAA 認証

FXOS (**connect asa**) から ASA コンソールに接続する場合、コンソールアクセス用の ASA AAA 設定が適用されることに注意してください (**aaa authentication serial console**)。